

令和4年9月立山町議会定例会一般質問・質疑通告概要

(R4. 9. 14)

一般質問・質疑順番

1番	後	藤	智	文	議員
2番	荻	生	義	明	議員
3番	堀	田		努	議員
4番	髪	口	清	隆	議員
5番	平	井	久	秋	議員
6番	伊	東	幸	一	議員
7番	澤	井	峰	子	議員
8番	松	倉	勝	実	議員

<一般質問・質疑>

1番 後藤智文 議員

1 国葬問題について

- (1) 安倍元総理の葬儀が国葬になったことに対して、国民世論は反対の声が多い現状だが、町長としてどう思うか。
- (2) 内閣は国民に弔意を強制しないという。反対世論が多い中、立山町として、弔意を示すために半旗を掲げるなどはしないと思うがどうか。
- (3) 教育委員会として学校などに弔意を示すために半旗を掲げるなどは行わないと思うがどうか。

2 補正予算に関わって

(1) オミクロン株対応ワクチン接種について

予算として5,600万円余りの割り当てが国からあるが、内容はよく分かっていない。分かる範囲で町民の疑問に答えてほしい。

- ① そもそもオミクロンワクチンとは従来のワクチンとどう違うのか。
 - ② 誰が対象でいつから接種できるのか。
 - ③ 集団接種はあるのか。
 - ④ 4回接種した人も対象になるのか。
- (2) 第3子以降学校給食費補助について

第3子以降の児童生徒は、10月から来年3月までの給食費は無料になり、子育て支援として大いに有効だ。しかし、この財源は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が当てられている。来年4月以降も財源を工面して、子育て支援として続けて無料化を図っていくべきだと思うがどうか。

(3) マイナンバーについて

マイナンバーを取得させようとなりふり構わず取り組む総務省。総務大臣は、地方自治体に対して来年度からマイナンバー取得率によって地方交付税に差をつけると表明。いろいろな問題があることから拒否する町民も多い。そんな中、性質の違うマイナンバーと地方交付税を結びつけることは適切ではないと考えるがどうか。

3 雄山高校について

(1) いろいろな取組をし、努力されたが、普通学級が削減された。町長は、提案理由説明で口惜しさと同時に寂しさを感じられていたが「小手先の手法はやめていただきたい」とも述べられていた。町長としての思いと、ほかにどんな手法が考えられるか伺う。

(2) 子供たちが少なくなっている状況の中で、今回の措置は根本的な解決にはならない。抜本的な改革が必要であり、少人数学級を県に提案してはどうか。国の制度の壁もあるが、1学級5人減らせば約800人の定員が減らせ、教育の質も向上すると思われるがどうか。

4 政治参加向上を目指して

(1) 女性議会について

ジェンダー平等が叫ばれているが、町議会をはじめ、女性の参画が少ない。以前開いていた女性（婦人）議会を再度再開し、身近な要求を吸い上げる手立てを取ったらどうか。

(2) 選挙公報配布方法について

選挙公報は今、新聞折り込みになっている。若者を中心に新聞を取っていない世帯が増えている中、今一度全戸配布という手段が取れないものか。選挙公報を手にもできない世帯は、おのずと投票から遠ざかるように思う。50%程度の投票率を上げるために全戸配布にすべきではないか。

5 消防庁舎の更新について

消防庁舎は町の安心・安全をつかさどる要である。築後48年経過し、役場庁舎に次いで古くなっている。公共施設等総合管理計画によると消防庁舎の更新を検討することが明記されている。早急に計画を作成すべきではないか。

6 夏休み短縮の効果について

今年度から夏休みは、近隣自治体に比べて1週間程度短くなったが、その効果について検証が必要である。夏休み後、日にちは経っていないが、児童、保護者、教職員にとってどのような効果や問題点があったのか明らかにすべきである。

7 浄化槽設置について

下水道・集落排水計画地域に入らない家は、町が浄化槽を設置し、町が管理することになっているが、なかなか設置が進まないようである。

- (1) 対象の家屋数と設置家屋数、進捗率はどうか。
- (2) なかなか進まない原因はどこにあり、今後どのように取り組んでいくのか。

8 立山自然保護特別委員会の視察を終えて

- (1) 称名滝遊歩道の雪崩被害復旧について、今後の計画はどのようになっているか。
- (2) 立山有料道路の落石被害復旧について、今後の計画はどのようになっているか。

2番 荻生 義明 議員

1 小学校の統合について

- (1) 小学校適正配置検討審議委員会から

平成 31 年 3 月に開催された審議委員会において出された答申案で児童数を考えると釜ヶ淵小学校と立山小学校を統合する案が出され、2023 年までに統合の枠組みを決定するとのことでしたが、町として今後どのような対応をしていくのか伺います。

2 地域おこし協力隊について

- (1) 立山町の地域おこし協力隊の取組、成果や課題について、活動任期終了後、立山町に移住定住されている方の現状について伺います。

3 空き家対策について

- (1) 町が把握している空き家状況と対策について伺います。
- (2) 空き家バンクの登録状況と活用状況について伺います。

4 新型コロナ対策について

- (1) 町のコロナ感染者数が増えているようだが、感染者への対策や支援状況、自宅療養者等について伺います。

3番 堀田 努 議員

1 町道上前沢線と県道立山・水橋線の安全について

- (1) 通学路として多くの児童生徒が通る、町道上前沢線の安全面について質問します。

立山中央小学校から役場東側までの町道上前沢線は、朝夕の登下校時、また、放課後に多くの

児童生徒が通行しています。しかしながら、道幅は狭く車が通るとグリーンラインの歩行者と接触しそうになるほどです。見守り隊として立って、またその方々に聞いても、元気に下校する子供たちと車が接触しそうで、ひやひやししながら見えています。ただ、そのほとんどがお迎えの車であることから、送迎の父兄へ十分な注意喚起の明確化を要望します。

(2) 放課後には多くの子供たちが前沢中央公園で遊んでいます。公園まで行くのに上前沢線や周辺道路を通りますが、子供の飛び出しもあり、非常に危険と感じます。道路や子供の通る場所に、注意喚起する看板や道路標示などの方法はないかを問います。

(3) また、通学路として利用されている、県道立山水橋線の現状についての報告と質問をします。安全面で比較的整備された県道前沢中央線と並行する県道立山水橋線は、道幅が狭い割には車の通行量が多い道路です。雄山中学校駐車場の西側に面し、やはり小中学生が多く利用しています。道路周辺には住宅が急速に増えてきました。しかしながらこの道路には横断歩道がありません。横断する小中学生は車が通りすぎるまで待っている状態で、そして車はスピードを出して走り、非常に危険な状況です。雄山中学校駐車場を結ぶ地点に、早急な横断歩道の設置を強く要望します。

2 コロナで中止の行事再開に行政の後押しを

コロナが収束するどころか、さらに蔓延し、行われるべく行事がやむなく中止になっている現状が続いています。花火大会など比較的大きい行事は、昨年と比べて開催されているように思われますが、町内や町内会の行事は中止となっている状況です。特にこの夏から秋に多くの行事を予定していた地区も、開催に向けて前向きに段取りをしていましたが、最後に残念ながら中止の判断を下した事例を多く聞きます。3年間にわたるコロナで行事は3回連続で多くの地区あるいは団体では、中止をやむを得ず決断しています。これに関して、非常に危機感を感じています。たとえば町内会行事で見ると、町内会役員が1年もしくは2年交代の地区では、行事が中止になることによって、次の役員に行事の引継ぎができない。翌年がさらに中止になれば、行事の存在すら希薄になってしまう可能性があります。大事な地元の行事、その地区を今まで守ってこられた先輩方を敬う行事、地区の子供たちの美しい幼き日の思い出となる行事、また自分たちが楽しむ行事がすたれてしまうとどうなるのでしょうか。一番危惧するところは、地元への愛着と感謝が薄れてしまうことです。複数年にわたり中止になった行事の復活は、先に述べた行事の存在すら希薄になり、故に困難になると思われます。それでも、火を絶やしてはいけないと、責任感とやる気にあふれた方々も多くいます。しかしながら、3年の空白は実際のところ、人の体力、気力も以前と比べて減少するのも事実です。そこで、各地区の伝統行事や町内の活性化につながる行事、子供たちの思い出作りにつながる行事を、官民一体となって啓発する方策がないか、町の考えを伺います。

4番 髪口清隆 議員

1 平坦地観光について

町は平坦地観光が活発になることを期待して観光協会と連携し、E-BIKE（電動アシスト付自転車）を活用した地域活性化に取り組んでいる。

- (1) 魅力的なジャパンエコトラックルートマップを作成され、9月5日からは五百石駅前の立山町観光協会でもE-BIKEのレンタルが開始された。

今後、町内外たくさんの人に利用してもらえるよう、立山の魅力を十分に発信できるガイド等も必要なのでは、今後の施策や展望は。

- (2) ルートマップには4ルート設定されており、そのうち大観峯自然公園サイクリングルートは自然豊かな山間のルートになっている。

そこで気になるのはトイレの問題である。白岩川ダム周辺にある、町で管理している公園内のトイレや、大観峯のトイレは汲み取り式のため、衛生面や臭いそして虫などの問題があり利用しにくいと思われる。

水洗トイレに改修できないか。

2 豪雨対策について

今年も全国各地でゲリラ豪雨等の大雨により、甚大な災害が発生している。

先月8月20日には、県内でも大雨による物的被害、そして最悪な人的被害もあった。

- (1) 町内では栃津川の水位の上昇により、新川公民館が一時避難所として開設されるなど警戒された。

町内における被害状況は。

- (2) 利田地区内ではオーバーフロー寸前の水路があり、特に利田新町と利田南台の間の排水路側面のコンクリートは以前から崩壊していて、中の土砂が流出している状態で、今回のような大雨で更に悪化していると思われ、近隣家屋の倒壊が懸念される。

土地改良区と協議されているが、町として緊急な対策はできないか。

5番 平井久秋 議員

1 雄山高校について

立山町からの要望もかなわず、令和5年度の雄山高校普通科定数の1クラス減が確定した。これにより、再編統合の対象になる規模になった。雄山高校の存続を望む立山町として、とにかく早急に令和6年度以降のことを訴えなければならない。それは荻布教育長の「今後、魅力ある高校になるよう考えていく」との発言から雄山高校にとって、特色ある魅力的なカリキュラムの導入を求めたい。それは以前から提案している「国際観光コース」の導入だ。今後も県に対し、粘り強く設置を訴え続け、「県内唯一のコース」として、県全域からの志願者を募ることで、「ここでしか学べな

い教科」を目指せばと思う。今後の働き掛けをどのようにお考えかを、伺いたい。

また、今回の県教委の決定を受けて、舟橋町長からとあるSNSで「来年のことは決まってしまったが、私は諦めない」との発言があった。その内なる思いを話せるのであれば、聞かせていただきたい。

2 放課後子ども教室の拡充について

立山小学校において、現在「放課後児童クラブ」はなく、「放課後子ども教室」を開設している。以前、立山小学校に設置をお願いしたところ、利用児童数が少ないことから、国、県の補助交付金が大幅に減額されるとのことで、今ある「放課後子ども教室」を充実し、利用してほしいとのことであった。指導する地元の方が6年生まで拡大してほしいと教育委員会にお願いしたところ、無理との返事と伺った。しかし平成30年の3月質問で教育課長からは、この時点で利用できる学年が、1～6年の全学年に拡大しているとの答弁であった。

なぜ、今6年生までの利用ができないのかを伺う。また以前のように全学年で利用できるようにすべきと思うがいかがか。

3 公民館改修

岩嶽公民館は昭和57年に建設され、その後大きな改修もされず今に至っている。ここ2年ほどコロナ禍で休館や、使用不可の時期もあったが今年に入ってから、活発に利用する動きも出ている。

その中で、先日会合があったが、館内は今も蛍光灯で大会議室は、相当暗く感じたが、会議室を含め各部屋の照度は適正か。CO₂削減が必須の中でLEDへの変換をと思うが。

また、冬の2階大会議室は、床が冷え切っており、エアコンによる暖房では空気は暖まっても床は冷たいままだ。築年数やCO₂削減を考慮した場合、床暖房とまではいかななくても、せめて断熱材を貼って寒さをやわらげることができないか。

4 転落防止柵の前倒しを

高岡で、大雨洪水警報が出ていた中、幼児が一人で外に出てから2週間後に海上で発見された。小さな尊い命が失われた。海上での発見から、外出後、河川に転落したものと思われ、転落防止柵の未設置が悔やまれる。

- (1) 町では昨年度、通学路等と平行する水路幅がおおむね1メートルと比較的大きな用排水路を対象として、各集落や土地改良区から要望があった町内13か所、総延長約3,270メートルで転落防止柵の整備を行う予定とのことだったが、工事の進捗度はどのようであったか。また、令和4年度の工事予定をお示しいただきたい。
- (2) 過去にも町内で転落死亡事故が多発したが、今後危険な場所を抱える地域で工事の前倒しを望むところも出てくると思う。水路と用水路では、所管が違うと思うが危険性は一緒だ。今一度、安全面を見直し優先順位を考えなければならないと思うが、いかがか。

5 農家支援策は

ウクライナ侵攻で、輸入に依存しているあらゆるものが価格高騰している。農家は肥料や飼料、燃料などの生産資材の全てが過去に例を見ないほどの価格上昇に苦しんでいる。

その中で富山市では、9月の補正予算で、主穀作、園芸、果樹、畜産の4区分を対象に助成することになった。また、県JA中央会でも県に対して国の措置とは別に対策の拡充を要望している。

町の基幹産業である農業に対し、今後、さらに町独自の助成を行う考えはないか。町独自の工夫を凝らしてほしい。

6番 伊 東 幸 一 議員

1 本年8月20日の大雨による被災について

林道、農業用施設等災害状況と復旧対策を問う。

2 県営農業農村整備事業について

- (1) 農村地域防災減災事業（ため池）法光寺谷池、（用水路）吉原用水の今後のスケジュールを問う。
- (2) 農地整備事業、四谷尾地区が地元要望の3年目に入る。
今後のスケジュールについて問う。

3 林道事業及び治山事業について

- (1) 林道長倉線、法面の風化対策について問う。
- (2) 虫谷地区及び長倉地区の地すべり災害復旧について問う。

4 中山間地域の振興及び鳥獣被害防止対策について

- (1) 上東地区では、近年のイノシシ被害拡大、最近サル被害も顕在化、被害防止の充実と強化を問う。
- (2) 虫谷地区での恒久型侵入防止柵については、高齢化のため対応には限界がある。早急な対策を問う。
- (3) 有害鳥獣焼却施設（エコロセンター）の管理、活用状況を問う。

5 新瀬戸地区内悪臭対策について

いまだに改善されていない状況が続いている。こういった指導がされているのか、どのように改善されたのかを問う。

6 総合公園関連道路拡幅について

町道四谷尾金剛新線の日中上野公民館北交差点から東側約 160 メートル、近年立山町総合公園周辺の土地利用状況が変化してきており道路の利用状況等を勘案の上、今後の整備について問う。

7番 澤井峰子 議員

1 教育支援について

東京都北区では小中学校に通う児童・生徒に、実用英語技能検定（英検）・日本漢字能力検定漢検）の検定料を全額補助するといった取組を行っている。

また、福岡県や福島県西会津町では高校生までもを対象とした英語検定料補助事業を通して、子供たちの「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能習得に取り組んでいる。

昨今、大学入試において英語外部検定利用入試を導入している大学が年々増加しており、出願資格や得点換算としての活用、また加点・判定優遇といった優遇措置がとられている。

- (1) 特色ある雄山高校とするため、国際的観光事業が身近にあることから、また4年制の大学進学率が毎年3割、短大・専門学校への進学を合わせると9割近いことから、生徒の可能性を開く支援として英語検定料の補助を考えてはと思うが見解を伺う。
- (2) 町内在住の中高生に対しても語学力を伸ばす事業として検定料の補助をと思うが見解を伺う。

2 男性版産休について

10月より従来の育休に加え、子供が生まれた直後に男性が最長4週間休める出産時育児休業がスタートする。現行の制度では子供が1歳になるまで1回しか取得できなかったものが、夫婦それぞれ2回まで分けて取得できるようになる。

- (1) 男性の育休取得率は2021年度で13.97%と女性の取得率85.1%に比べるとまだまだ低い。法改正による男性の育休がさらに取得しやすい環境となることを期待するが、我が町の男性育休の現状について伺う。
- (2) 男性版産休への環境が整う反面、職員体制、人的配置への影響も危惧される。今後、行政DXの効果的活用やコロナ禍における緊急的対応をどのように考えていくのか町の見解を伺う。
- (3) 男性の産休・育休への周知を出産予定者やその家族、また企業や若い世代に向けての発信が重要であると思うが町の対策を伺う。

3 防災・減災対策について

平成25年から作成義務化による避難行動要支援名簿が99%の市町村にて進められてきたが、いまだ災害での被害の多くが高齢者となっている。こうした避難行動要支援者の避難をより実効性のあるものとするため、昨年5月、災害対策基本法が改正され、個別避難計画の作成が市町村に努力

義務化された。

- (1) 改正後の庁内連携の取組を伺う。
- (2) 福祉専門職の参画の現状を伺う。
- (3) 自主防災組織が中心となる地区防災計画との連携が要支援者の避難行動にも直結している。自主防災組織の地区防災計画の現状と今後の取組を伺う。

4 マイナンバーカードについて

現在、全国的にも伸び悩んでいるマイナンバーカードの普及。マイナポイントが付与される期限が今月となっている。

- (1) 町の現状と今後の対策を伺う。
- (2) マイナンバーカードを取得しているが、マイナポイントを受け取っていない方がいる。ご高齢の方にとって、電子マネーカードや携帯でのポイント取得はハードルが高い。そうした方への対策を伺う。
- (3) 昨年10月よりマイナ保険証の運用が開始され、厚生労働省は2023年4月から、全国の医療機関などにマイナ保険証の運用に必要なシステムの導入を義務付ける方針としている。町の医療機関の現状を伺う。

8番 松倉勝実 議員

1 新型コロナウイルスについて

- (1) 現在第七波が進行しているが、立山町の現状への町長の見解と対策について伺いたい。
- (2) 立山町民が安心して暮らせるよう、役場として職員全員のPCR検査を提案したい。この検査を実施することにより、役場に対する信頼が増すことになると考える。その上、市中感染の現状把握ができる。
町長の見解を伺いたい。

2 新川保育園後のサテライトオフィスについて

- (1) 現状と対策について伺いたい。
- (2) 遊具の地域開放について、現状といつまでに子供たちへ提供できるか伺いたい。

3 立山線五百石駅の西側無人改札新設について

本来は、富山地方鉄道への要望が先と思うが、町として、駅西側の発展状況からまた雄山高校の存続も考慮し、西側自動改札を提案したい。町長の見解を伺いたい。

4 役場の女性休憩室について

当然あるべきものとして探したが、見当たらない。現状と新設の有無について町長の見解を伺い

たい。

5 立山町ホームページについて

ホームページは立山町の顔である。見やすい、分かりやすい、使いやすい。そのために改定の周期、第三者機関によるチェック、情報掲載の期間等伺いたい。